

平成 30 年冬

P a P ぽこあぽこ

新年のご挨拶

理事長 下村 卓司

あけましておめでとうございます。

今年は福祉・医療業界にとって大きな節目の年を迎えようとしています。医療業界は診療報酬改定・薬価改定、福祉業界も介護保険及び支援費の報酬改定がこの2月に発表される予定です。業界各団体は昨年より国は勿論の事政治家に対して陳情し、増額や現状維持をお願いして来たようです。国及び政治家は働き方改革を旗印に国会が召集され議論されているところですが、問題の元凶は少子高齢化による人口減少と働き手の不足から来ています。少子高齢化や人口減少は少なくとも20年前からわかっていた事です。その間何をして来たのでしょうか？抜本的な改革は先送りし、目の前の問題に対症療法的な対応ばかり。予算は常に赤字予算、本当にどうなるのでしょうか。

福祉現場も人材不足で事業を継続する事が困難になる施設も出てきています。AIとシェアできる業種業態は良いですが、対人サービスである福祉業界や医療業界はコンピューターやロボットでは対応できません。事業継承する人材確保と人材育成をする為には魅力ある業界にならないといけません。現在の介護報酬や支援費では現場スタッフが将来に夢を持てる事は出来ないと思います。一般との給与格差は縮まるどころか広がるばかりで、40歳平均給与は100万円以上もあります。40歳で住宅ローンを抱え子育てをするには共稼ぎ以外に生活を維持する事ができません。そんな業界に誰が夢を持って入って来てくれるでしょうか。働き方改革よりも税金の使途改革による福祉国家を目指すべきなのではないでしょうか。

さて、ぽやきはこのぐらいにして我が法人の来年度の方針ですが、法人設立30周年を迎える今年、以和貴会設立当時の先代理事長の思いであったであろう人の和を大切にすること、初心に立ち返る年にしたいと考えています。職場（スタッフ同士）やスタッフとご利用者及びご家族、以和貴会と地域等々、関係者が和（縁）を大切にする事で心安らぐ場所作りをこんな時代だからこそ取り組みたいと思います。互いを思いあい、互いを尊重し、互いを助け合う法人になりたいと思い、様々な取組を計画的に実施して行きたいと思っています。



よさこい踊りと絆

よさこいチームリーダー
ゆらくの里調理師 北原 浩士



10月9日に、「第1回香芝よさこい祭り」が開催され、当法人もご利用者・ご家族様・職員の総勢30余名で出場しました。4月にメンバーを募り、よさこいとは一体どんな踊りなのか、経験のない私たちができるのかなど多くの不安を抱えながらもスタートしたのが5月でした。



練習を始めた頃は、ご利用者はあまり乗り気ではない方も何人かおられ『このままで大丈夫かな?』と正直不安を感じました。しかし、毎日練習をしていく中で、ご利用者の表情も笑顔に変わってゆきました。徐々に、踊りへの抵抗や恥ずかしさは無くなり、ご利用者同士で『頑張ろう!一緒にやろう!』という声も上がり、チームとしての絆も一層強くなっていったのを感じました。

まず初めに、職員がDVDを見て振付を覚え、毎週金曜日に仕事を終えた後、1～2時間ほど全員で練習を行いました。職員が一通り振付を覚えると、次はご利用者の練習開始です。ただ、職員が練習用に使用していたDVDを見ながらご利用者に教えるのは大変だったので、練習用DVDを作り、各事業所にて空いた時間を有効に使いご利用者との練習をしました。ゆらくの里でも、平日の午後の活動時間を利用し、練習に励みました。



練習を開始してから3ヵ月が経過した8月に、初めて各事業所のご利用者・職員の合同練習を行いました。私は厨房勤務の為、参加できませんでしたが、皆さん想像以上にしっかり振りを覚え踊れていたと聞いています。二回目の合同練習にはご家族様も参加され、フォーメーションや最後のポーズの練習など、本番さながらの仕上がりでした。この様に、日々の練習を積み重ね本番当日を迎えました。



「おはようございます！」元気な声が集合場所に響き渡り、メンバーが続々と集まってきました。天候にも恵まれ、皆の熱気が夏を呼び戻したかのような晴天でした。出番は正午前、それまでに皆で化粧をしたり衣装に着替えたりと、日常とは違う雰囲気の中、ドキドキ・ワクワク感が伝わってきます。本番までに少し練習をして、最高潮に士気が高まった状態で会場となる香芝市役所前へ向かいます。

会場に着くと、野外コンサート会場に設置されているような大きな舞台がまず目に入りました。そして、その舞台を囲む大勢の観客、参加チームのきらびやかな衣装、人の熱気に圧倒されました。前のチームの踊りを見ながら、自分たちの順番を待つ間の緊張感も、初めて経験される方も多かったのではないのでしょうか？不安な表情で立ちすくむ人、上手なチームを見てより一層やる気が高まる人、記念撮影を楽しむ人、立ち位置を最後まで確認する人、それぞれの時間を過ごし、私達の番がやってきました。



「よっちょれよ～、よっちょれよ～♪」聴きなれた音楽が大きなスピーカーから流れ始めます。皆さん堂々とした顔で、楽しんで踊っています！「それ、それ、それ、それ～♪」曲の途中の掛け声も大音響に負けず会場中に響き渡ります。頑張っ毎日練習してきたチームの自信とパワーは、掛け声と共に多くの観客の心にも響いたことと思います。一緒に舞台に立ちながらも、皆の熱気をガンガン感じました。舞台を降りてから、観客の人から「すごく良かった」と、声を掛けられているご利用者を見て、同じチームの一員であることを誇らしく思いました。

応援してくれた方々、日々の練習にお付き合いしてくれた方々、本当にありがとうございました。そして、よさこいチームの皆さんお疲れ様でした。結果は言うまでもなく『大 成 功』です！

私も含め、全員が未知の世界に飛び込みました。一步目の階段を上るには、とても勇気がいります。皆で共に登る階段は、無理だ、しんどい、リスクが伴うなどと決めつけ、回避してしまいがちです。しかし、無理せず、ゆっくり、歩幅を合わせて、たまには共に立ち止まり、しんどい事も共に笑い飛ばすことにより、一歩ずつでも登ることが出来ると今回のよさこいを通し感じました。そして登った先には必ず扉が有り、扉の向こうには、結果という景色が待っています。私が、“よさこい”という階段を皆で登り、たどり着いた扉の向こうに見つけたものは『絆』です。この絆で結ばれたご利用者、ご家族様、職員、三位一体となり、まだまだ続く階段を共に登り続けたいと思っています。次の扉の向こうには、どんな景色が待っているのか、私は楽しみで仕方ありません。

アート活動「アトリエ それいゆ」便り

2017年の秋は「国文祭・障文祭」が開催され、より一層「芸術の秋」を満喫することができました。秋までの活動のご報告をさせていただきます。

◆第102会 二科展デザイン部 初入選（主催：二科会）

“アトリエそれいゆ”の西谷光世さん（所属：我楽さぼーと）の作品「よりそう」が、第102回二科展に初入選されました。今回5度目の挑戦で、悲願の「入選」を果たすことができました。この展覧会は、プロのデザイナーたちが切磋琢磨し、時代を切り開くような新しい表現を追求している公募展です。その中で障害のあるなしに関係なく、作品を評価していただいたことを、とても光栄に思います。これも、常日頃の皆様の温かいご声援によるものと、心より感謝申し上げます。

西谷光世さん「よりそう」



◆全国ポストカードデザイン大賞 入選（主催：二科会関西支部、産経新聞社）

先にご紹介させていただきました西谷さんの作品「お馬のポニー」が、「第15回全国ポストカードデザイン大賞」にも入選しました。この展示は、二科会関西支部・産経新聞社主催の展覧会で、西谷さんは今までに7回入選されています。二科展とダブルで入選され、今まで以上に喜びが大きいものとなりました。

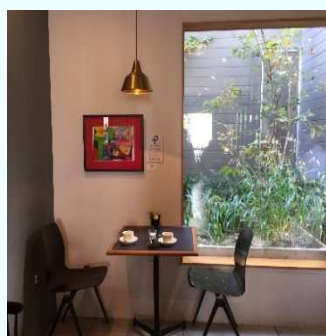
西谷光世さん「お馬のポニー」

◆【プライベート美術館】（主催：文化庁 厚生労働省 奈良県 第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会など）

「ビッグ幡 in 東大寺」と併せて、「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の一環で、大々的に開催されました。今年は、ならまちのみならず奈良県下で催され、多くの人で賑わいました。元々この展示は、ならまちを1つの美術館と見立てて展示をするという壮大なプロジェクトです。展示に先立って、ショップやカフェのオーナーさん、寺社の方たちとお見合い展示が開かれ、お気に入りの1枚が選出されました。作品を選んでくださった方にお話を伺うと、毎年お見合い展示をとても楽しみにしてくださっているようで、色彩が鮮やかな作品が好きなので選ぶと、偶然3年連続“アトリエそれいゆ”の方の作品だった…というお話もちろほ聞こえてきます。“アトリエそれいゆ”からは6名の方の作品が選ばれ、喜びを共にすることができました。



山口裕樹さん作品展示の様子



小山加尉さん作品展示の様子



唯吉 茜さん作品展示の様子



内田千恵さん作品展示の様子

◆ビッグ幡 in 東大寺（主催：文化庁、厚生労働省、奈良県、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 他）

毎年恒例の「ビッグ幡 in 東大寺」。今年は「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の一環で開催されました。今年は、“アトリエそれいゆ”の作品の中から、5名の方の作品が幡のデザインに採用されました。「幡」とは、人々の平和を祈り、魔よけの意味を持つ旗の事で、東大寺の重要な儀式で使用されます。今回、全国から多数の応募があり、応募された全作品の原画も奈良県文化会館にて展示されました。

ビッグ幡 in 東大寺 原画展示・会場様子



内田千恵さん「bloom」

◆【なら・いけばなフェスティバル作品展示】

（主催：文化庁、厚生労働省、奈良県、第32回国民文化祭奈良県実行委員会、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 他）

「第32回国民文化祭」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」で開催された「なら・いけばなフェスティバル」。この展覧会で、“アトリエそれいゆ”の内田千恵さん（所属：ワークサポートセンター今人）の作品「bloom」が、奈良県文化会館にていけばなの作品と共に展示されました。花の香り漂う会場に、障害のある人となない人の作品が勢ぞろいし、多くの方が芸術の秋を堪能しました。

◆全日本アートサロン絵画大賞展 入選（全日本アートサロン絵画大賞展実行委員会・産経新聞社 主催）

アマチュア画家のための展覧会「第27回全日本アートサロン絵画大賞展」に、“アトリエそれいゆ”の山口裕樹さん（所属：ワークサポートセンター今人）の作品「夕風（ゆうなぎ）」が入選し、今回5回目の挑戦で、2度目の入選を果たすことができました。

《東京展》

会期：平成30年2月8日（木）～19日（月）
＊13日（火）休館
午前10時～午後6時＊最終日は午後3時まで、
入館は閉館の30分前まで
会場：国立新美術館 展示室1B

《大阪展》

会期：平成30年3月6日（火）～11日（日）＊無休
午前9時30分～午後5時 入館は閉館の30分前まで
会場：大阪市立美術館 地下展覧会室（天王寺公園内）



山口裕樹さん「夕風（ゆうなぎ）」

芸術活動によって数々の素晴らしい体験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。「障害のある人の喜び・幸せのために」と始めた“アトリエそれいゆ”の活動ですが、障害のある人の活動を通して、これまでも非常に多くの事を学ばせていただきました。これからも、皆様の幸せの為に努力精進して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

アート活動「アトリエ それいゆ」
岡橋 三起子

ゆらくの里 冬期施設内研修

12月27日

ゆらくの里 生活支援員 小川 裕太



平成29年度の冬期施設内研修は、臨床心理士の^{はなえき}花浴 友利子先生に講師として来ていただき、感情のコントロールに関する講義をお願いしました。午前は『アンガーマネジメント』すなわち『怒り』のコントロールについて学びました。私たちはいろいろな場面で怒ってしまうことがあります。利用者様の中にも頻繁に怒りを爆発させる方もいらっしゃいます。

なぜ『怒り』が起こるのでしょうか？様々な要因があるでしょうが、大きな割合をしめるのは『第1感情』ではないでしょうか。『第1感情』とは、不安・つらさ・悲しさ・寂しさなどのことです。こうした不快な感情が引き金となって『第2感情』すなわち『怒り』が起こります。これらの第1感情を和らげることで怒りの気持ちを少なくすることができます。そのためには、自分が感じている第1感情を相手に伝えることが必要です。先生は『Iメッセージ』という言葉で説明してくださいましたが、例えば連絡なく遅れてきた相手に「事故でもあったのかととても心配したよ」「連絡してくれたら嬉しかった」といった自分（＝I）の気持ちや要望を伝えるのです。「あなたが遅れるのが悪い」という『怒り』を伝えると、それは相手への非難になってしまい、相手の怒りを引き起こすことにもなりかねません。これは私にとって大変勉強になりました。これを実践することで、問題が起こった時でも相手も自分も穏やかな気持ちで解決につなげることができるだろうと思いました。

アンガーマネジメントとは・・・

怒りを上手にコントロールして適切に対処するためのスキル。これは、アメリカで1970年代に提唱され普及した心理トレーニングで、教育現場や企業研修など幅広い分野で取り入れられている。怒っても変わらない状況は冷静に受け止め、怒りを伝える必要がある場合は相手の理解を得られる言葉で伝える工夫をすることが出来るようになる。怒りを適切に対処できるようになれば、モチベーションアップや良好な人間関係の構築など、さまざまな効果を期待できる。



■■■ 講師紹介 ■■■

臨床心理士 ^{はなえき}花浴 友利子 先生

障がい者更生相談所の心理判定員を経て、学校・企業・福祉施設・精神科クリニックでのカウンセリングやコンサルテーションを担当。

午後は、利用者様の事例検討を基にグループディスカッションを行いました。その中で私は利用者様の表面上のことしか分かっていないことが多いことに気づき、大いに反省しました。利用者様の情報をもっとよく知り感情に共感することができるようになれば、信頼関係に基づいたより良い支援に繋がるとも感じました。花浴先生によると、福祉の現場の仕事は感情労働なのだそうです。そこで働く私たちにとって怒りや怒りが引き起こすストレスを少しでも減らすことはとても大切です。話をよく聞く、冗談を言い合うなどで利用者様の第1感情を少しでも減らすことが私たち職員の仕事のひとつであると思います。また、ストレスを減らすためには、相手の気持ちを考えて行動し、時には役割を交代するといったことも大切です。これは福祉の現場だけでなくどの職場でもあてはまることでしょう。

私たちは様々な感情と共に生きて行かなければなりません。感情の一つである怒りを感じることは自然であり、怒りを完全になくすることはできないでしょうが、怒らずに済ませる方法や怒りを感じた後の行動をコントロールする方法を知り、ストレスを軽減することを心掛けたいと思います。

シェフェスタ奈良・馬見

10月14・15日(馬見)、10月30・31日(奈良)

馬見丘陵公園と奈良公園にてシェフェスタが開催されました。

“奈良食材とシェフの交流”を目的とし「奈良グルメ再発見」につながるグルメイベント「シェフェスタ」。出す商品の種類や量をギリギリまで悩みましたが、無事に終えることができました。以和貴会としては、モンステラカフェとふえり〜ちえのパンを販売させていただきましたシェフェスタには他にも多数の飲食ブースが出店されていました。販売するだけでなく、販売する時の見せ方を学ぶ機会、また奈良の食材をどのように工夫し取り入れられているかを改めて知る機会となったのではないのでしょうか。



すみれの里 一泊旅行

10月26・27日

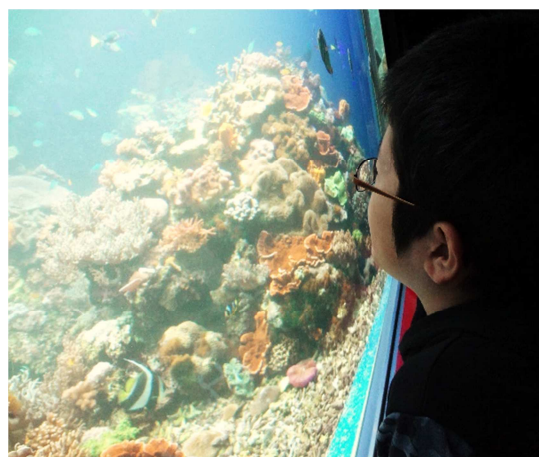


10月26・27日、すみれの里では2回目となる一泊旅行に行ってきました。直前まで天候が心配されましたが、すみれの里ご利用者の「旅行に行きたい!!」というパワーで、台風は2日前に無事通過。天候に恵まれた2日間となりました。1日目は伊勢おかげ横丁へ。皆さんおいしそうに伊勢うどんや赤福を召し上がり、散策を楽しみました。また、夜は宴会にて盛り上がり、大きなお風呂で疲れを癒しました。2日目は志摩スペイン村へ。色んなアトラクションを体験したり、賑やかなパレードを鑑賞したりして、楽しく過ごしました。ご家族へのお土産選びも、楽しそうにされていました。帰路は渋滞に巻き込まれ、すみれの里への到着が大幅に遅れてしまいましたが、到着時には皆さん満足そうな表情をしておられ、来年の旅行はどこに行こうかと話が弾んでおられました。来年度もさらに素敵な旅行となるよう計画したいと思います。

児童支援課 宿泊学習

10月28・29日

前年度に続き、兵庫県神戸市にあります「神戸市総合福祉ゾーン しあわせの村」へ宿泊活動に行ってきました。宿泊1日目は「バンドー神戸青少年科学館」に行き、実際に体験できるアトラクションなどで楽しみました。しあわせの村では「ジャングル温泉」に入り温泉を満喫した後、明日に備えてお友達と共にぐっすり眠りについていました。宿泊2日目は「須磨水族館」に行きました。あいにくのお天気となってしまいましたが、イルカショーも見ることができて子どもたちも大満足の様子でした。



香芝ふれあいフェスタ 2017

11月5日



今年度も香芝市役所前にて「香芝ふれあいフェスタ」が開催されました。当日は、たくさんのお客様が来場され、とても賑わいました。お天気も良く、お祭り日和。私たち以和貴会は、モンステラ工房のクッキー、ふえり〜ちえのパン・ラスク、SORAのフライドポテト、ゆらくの里の陶芸・絵画作品を販売しました。当日限定の商品もあり、大盛況。おかげ様で多数の商品が完売となりました。ふれあいフェスタのボランティアとして参加されていた畿央大学の学生さんは、以前にワークサポートセンター今人に介護等体験事業で実習に来られていた方で、ブースを覗きに来てくれました。以和貴会と繋がりを持たれた方、一人一人との関わりが繋がりを生むのだと感じながらのイベントとなりました。

第6回全国生産活動・就労支援部会職員研修福祉物産展

11月9・10日

今年度は、関西圏での開催になり、兵庫県尼崎市の阪神尼崎駅前の中央公園で開催され、11/9・11/10の2日間参加させて頂きました。関西での開催でしたので、当法人スタッフも実行委員にも入り、イベント開催のお手伝いをさせて頂きました。今年も全国から約40事業所が参加され、駅前での開催ということで駅をご利用される多くのお客様にも商品喜んで購入して頂く事ができました。障がいのある方々が、地域社会の中でどう働いていくか、より良い共生社会を構築していくかを形にして行くためにはどうしていくのが良いのか、全国の事業所の方々と情報ネットワークを大切だと感じています。来年もぜひ、物産展に参加したいと考えています。



第9回スイーツ甲子園 本大会 11月23日



スイーツ甲子園とは、障がい福祉事業所が製造する商品（菓子）のレベルアップと販路拡大を目指すコンテストで、今年は神戸元町6丁目商店街で開催されました。9月に奈良大会でグランプリを獲得した当法人の「奈良県産こめこのちゅいる」を含め6府県6事業所から自信作がエントリーし、試食やプレゼンテーションで審査していただいた結果、グランプリは兵庫県の「赤穂塩ラスク」、準グランプリは大阪府の「お魅ラスクふわりん」となりました。モンステラは3位という結果に終わりましたが、審査員の方々より味についてはお褒めの言葉をいただくことができました。また、商品化に向けての課題は包材や価格設定にある、という有り難いご意見もいただきましたので、改善し商品化を進め、販路拡大につなげていきたいと考えております。ナチュラルカフェモンステラ等で販売しておりますので、是非ご賞味下さい。

第 45 回奈良県障害者作品展

11 月 23～28 日

第 45 回奈良県障害者作品展で、ゆらくの里アート活動「暖」班より福本基孝さんと宮下孝雄さんが優秀賞を受賞されました。今回の作品展では応募数 400 点の中から絵画部門で福本さんの作品「古里の春夏秋冬」と工芸部門より宮下さんの木工作品「荒波」が選ばれました。福本さんが描かれた作品は、1 年近くをかけて点描画で描かれた大作で、春の枝垂れ桜、夏のひまわり、秋の紅葉、冬の雪の思い出が表現された作品です。宮下さんの作品は、制作の合間に集めて来られた木の枝を鋸で細かく切り、ひとつひとつボンドで張り合わせた作品です。受賞式ではお二人とも大変緊張されていましたがとても喜んでおられこれからの作品制作の励みに繋がると思います。今後も、ゆらくの里アート活動班では、アートの持つ可能性とご利用者様の感性や表現する楽しさを発揮して頂き、ご利用者様の生きがいに繋げて頂けるような活動を目指して行きたいと思っています。



奈良県知的障害者施設協会 合同レクリエーション

11 月 25 日



11 月 25 日（土）桜井市芝運動公園にて、奈良県知的障害者施設協会主催の合同レクリエーションに「以和貴会 今人・我楽・すみれの里」チームで参加しました。私たちのチームは、他施設と合同で緑チームとして、徒競走・妖怪体操第一、玉入れ、綱引き、リレー等の様々な競技に参加しました。徒競走では、ゴールに向かって全力疾走。団体競技では、利用者・スタッフ・他施設の方々と力を合わせて、玉入れや綱引きに参加しました。参加しにくい方もおられましたが、緑チームを元気に応援されました。寒い体育館の中でしたが、思いっきり身体を動かして楽しむことができました。

児童支援課 クリスマス会 12 月 16 日

12 月はボノビル 4F にて、児童支援課のクリスマス会を開催しました。昼食はレストランで、バイキングをお腹いっぱい食べた後、クリスマスにちなんだ工作活動やクリスマスソングを唄って過ごし、最後はサンタさんからクリスマスプレゼントを受け取って、子どもたちは大喜びの様子でした。本年も子どもたちが楽しめる、様々な活動を行っていきたくて考えております。皆さまのご協力よろしくお願い致します。



ゆらくの里 クリスマス会 12月16日

ゆらくの里多目的ホールにて、平成29年度ゆらくの里クリスマス会を開催しました。今年度は、昨年度に引き続き女性だけの劇団グループ「劇団音芽さん」の演劇や昨年度大盛況だった職員有志グループによるダンス、そしてゆらくの里クリスマス会の名物である保護者会の皆様による余興が復活しました。どの演目も力のあるステージでとても素敵でした。参加されておられたご利用者の皆さんも目を輝かせて、唄ったり踊ったりしながらとても良い表情が見受けられたことを実行委員としましても、たいへん嬉しく思いました。



2017冬彩 12月16日



今池親水公園で『冬彩』が開催され、ふれあいキッチン SORA が出店しました。食ブース・ステージ・花火・和紙玉展示・奈良クラブブース・お土産物知り館とイベント盛りだくさんの中で、当法人の豚汁とフライドポテトを、たくさんの方々に購入して頂き、どちらも完売することが出来ました。親水公園に飾られていた和紙玉作りでも毎年参加させて頂いており、会場は三千個の幻想的な光が会場を包んでいました。また、凜とした冷たい空気の中、真冬の花火と迫力ある太鼓のコラボは感動的で、2017年最後の素敵な思い出になりました！

成人通所事業「歌って踊って大忘年会」 12月21日

福祉センター大広間にて『歌って踊って大忘年会』を開催しました。スイーツファクトリーモンスターの美味しい手作りシュークリームをいただいたり、それぞれが練習した出し物で盛り上がり、ボランティアで参加して下さった青い鳥の皆さん、関屋保育園の先生方の愉快な出し物にたくさん笑わせて頂き、その名のとおり、『歌って踊って』の笑顔いっぱいの忘年会になりました。最後には今人気のブルゾンちえみ with B に扮した職員からお土産が配られ、会場は驚きに包まれながらも皆さん喜ばれていました。1年の締めくくりをご利用者様とスタッフが楽しい時間で過ごす事ができました。



ゆらくの里 新年会 1月9日



新年の恒例イベント「ゆらくの里新年会」を今年も開催しました。昼食は昨年度に引き続き、調理師さんが目の前でお寿司を握ってくれる、豪華「お寿司バイキング」をご利用者・職員で心行くまで堪能。午後からはフリースペースにて「ゆらくだよ全員集合2018」と題してシュークリームロシアンルーレットや、ご利用者とスタッフによる漫才や歌を披露。皆さん笑顔の絶えない一日となりました。

新入職員紹介

ご利用者のために
精いっぱい頑張ります
どうぞよろしくお願い致します



ますだ すみこ
増田 寿美子 (11月6日入職)

ゆらくの里放課後等
デイサービスセンター パート

11月6日より、ゆらくの里放課後等デイサービスセンターで勤務させて頂いております。

日々、ご利用されている子どもたちに寄り添いながら、共に成長していきたいと思ひます。宜しくお願い致します。



ゆかわ しのぶ
湯川 しのぶ (12月12日入職)

我楽(カフェ) パート

12月からモンステラカフェで働かせていただいております。早く仕事を覚えて頑張りたいと思ひます。よろしくお願い致します。



おおもり よしき
大森 祥貴 (12月12日入職)

我楽(カフェ) 正職員

初めまして。12月12日より、ナチュラルカフェ・モンステラの方で働いております。大森と言ひます。

利用者の方と一緒に働きながら、色々なことを学び、吸収して、またこちらからも発信していきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



かたやま くによ
片山 邦子 (12月21日入職)

すみれの里(看護師) パート

12月21日より、通所事業看護職として入職致しました。利用者様の健康管理・コミュニケーションを取

り、異常の早期発見に努めたいと思ひます。一日も早く、以和貴会の一員となりたいと思ひます。宜しくお願い致します。



まきうら のりこ
牧浦 範子 (1月11日入職)

すみれの里(看護師) パート

1月11日より、通所事業看護師として勤務させて頂いております。

福祉の中でも未経験の分野ですが、利用者の方と楽しく、笑顔で頑張りたいと思ひます。宜しくお願い致します。



なかばやし れいか
中林 礼香 (1月11日入職)

我楽(カフェ) パート

思いやりを大切に、毎日を笑顔で楽しいを感じられる場所でありたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。



まつむら あきの
松村 秋乃 (1月18日入職)

我楽(SORA) パート

1月18日から勤務させて頂いております。早く仕事を覚えて皆さんと仲良く仕事ができるように頑張ります。お料理する事が好きで、お力になれたらいいと思ひますのでよろしくお願い致します。

第 25 回 白ゆり会様寄贈

12月2日



『白ゆり会』様からの雑巾の寄贈も今年で25回目となりました。提供してくださった方、一針一針心を込めて丁寧に縫ってくださった方、皆様のお心遣いに感謝しつつ法人各事業で使わせていただきます。

『白ゆり会』様は法人の行事の際にいつもご協力くださっています。これからもご利用者のためにお力を貸していただけますよう、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。



《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただきます、ご利用者のために使用させていただきます。

《個人》

川本雅代、古本昭雄、増尾明広、中筋廣次、池上治人、谷口融正、川北司朗、宮地恵美子、宇田孝子、弓場鉄男

《業者ほか》

(株)タクサン、山口ガス商会、(株)ステップワン、テラセ訪問美、阪本石油、(株)老松園、大良水産(株)

(順不同・敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

新年、明けましておめでとうございます。今年は「戌年」です。十二支のうち、11番目にあたる戌年は、「結実」を表す年でもあり、これまで続けてきた様々な取り組みに、良い結果が表れる年になると言われています。私たちも、今までの取組に実が結ぶよう、継続して頑張っていきます。

発行：社会福祉法人 以和貴会
住所：〒639-0261
奈良県香芝市尼寺616番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
Mail：office@yuraku.or.jp
発行：平成30年1月